



Leaf

2004年3月1日
盛岡市三本柳6-1-1
盛岡赤十字病院
医事第二課(地域医療連携係)
発行責任者 利部輝雄

盛岡赤十字病院医療連携だより No.1



盛岡赤十字病院は、昨年8月の病床区分選択にあたり、492床すべてを一般病床として届出し、急性期医療を中心に医療を提供することといたしました。また、10月には病院の理念を改訂し、これに合わせて基本方針を新たに決めました。

【基本理念】

私たちは、人道・博愛の赤十字精神にもとづき、みなさまの生命と健康を守るために、信頼される医療を実践します。

【基本方針】

- ・ 患者さま中心の医療
- ・ 良質な医療の提供
- ・ 救急医療と災害救護の充実
- ・ 地域との連携
- ・ 職員の協調と健全経営

平成9年4月の診療報酬の改定は、医療機関の機能の分担を明確にし、病状に応じて最適の医療を受けられるようにとの施策を反映しております。このような施策を効果的に進めるには患者さまの理解と地域の医療機関との緊密な連携が必要となります。

盛岡赤十字病院地域医療連携室は、患者さまとそれに関わる医療機関の皆様と当院が手を携えて効果的な医療が行われるよう努力いたしますので、どうぞよろしく願いいたします。

盛岡赤十字病院
院長 利部輝雄

平成14年9月に地域医療連携室を設置し、地域の開業の先生方や病院の先生方と医療連携の推進をはかり、お蔭様で昨年9月より紹介率30%を超えることができました。これもひとえに皆様のご協力の賜物と感謝いたしております。

今回さらに連携を深めていくために“地域医療連携だより”を発行することといたしました。当院のいろいろな情報を皆様にご紹介することで、相互理解を深め、スムーズな医療連携に役立てたいと考えております。

現在、当院医療連携室では、次のことを推進しております。

- 1)紹介患者さんを円滑に受け入れ、待ち時間なく診察を速やかに行うために、予約FAX受付・カルテの事前作成・患者さんの案内を行っております。
- 2)急性期病院としての機能を十分にはたせるよう紹介元の先生への逆紹介を推進しております。
- 3)ご紹介いただいた患者さんの受診連絡の100%報告を目指しております。また、入退院等に伴う報告の徹底を図ってまいります。
- 4)医療機関の皆様に勉強会・講演会等をご案内し、顔のみえる連携を目指してまいります。
- 5)その他、広報活動・医療機関の訪問・交流会等を通して医療機関の連携強化を図ってまいります。

また、今後は登録医制や、病院のオープン化等も視野に入れた体制の整備により、より一層の連携強化を図りたいと考えております。

まだまだ力不足で皆様にはご意見やご要望など沢山おありかと思えます。その節は医療連携室または西城までご連絡をいただきたいと存じます。頂戴しましたご意見やご要望を糧として院内の改善に務め、皆様の信頼に応えられる医療連携を推進してまいりたいと考えておりますので、今後ともご指導ならびにご支援をよろしくお願いいたします。

盛岡赤十字病院 地域医療連携室長 西城 精一

連携係からお知らせ

+ FAXでの紹介方法（平日8：30～17：00）

- ・「患者紹介予約用紙」を地域医療連携係へFAX(019-637-3313)で送信して下さい。
- 15分以内に診療科と受診日時を調整のうえ「来院ご案内」をFAXでお送りいたします。
- ・「来院ご案内」を患者さまにお渡し願います。

+ 電話での紹介方法（平日8：30～17：00）

- ・各診療科へ直接電話連絡して下さい。(代表019-637-3111)
- 症状等を確認のうえ受診日時を予約させていただきます。
- ・予約後、「患者紹介予約用紙」を地域医療連携係宛てFAXで送信願います。
- 事前にカルテを準備してお待ちいたします。
- ・FAX送信後は、「患者紹介予約用紙」を患者さまにお渡し願います。

+ 時間外の急患紹介方法（17時以降、土曜、日曜、祝日等）

- ・急患室へ電話で連絡して下さい。(代表019-637-3111)

FAXで患者紹介予約用紙の患者情報を頂いた患者さまにつきましては、連携係がカルテを事前に準備し、患者さまがいらした際には診療科までご案内させていただきます。

ご意見・ご要望の紹介

1月末から院長・事務部長・連携担当課長の3名で、紫波・矢巾地区の医療機関を訪問させていただきました。訪問先の先生方には、お忙しい中お時間を取っていただき、貴重な、ご意見・ご要望を頂戴しました。

その中の一部ではございますが、病院としての回答を添えてご紹介いたします。

○紹介してもその日は駄目と断られることがある。

○電話で連絡したが、無理だと言われ他へ紹介したことがある。

A:大変申し訳ございません。お断りしないでお受けするよう指導しておりますが、再度徹底いたします。

当院は、急性期病院として、紹介患者・救急患者の診療を中心とした医療に特化できるよう体制を整備してまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

○余裕のあるときは連携室を利用しているが、直接電話でお願いしている。

A:システムを上手く使い分けていただきありがとうございます。今後もそのようにお願いいたします。

○盛南地区で精密検査をするのに、基幹病院としてお願いしたい。

A:ありがとうございます。ご期待に答えられるよう努力いたします。

○勉強会があるとかかりつけ医として助かる。

○研修会のようなもので日赤の先生と顔見知りになりたい。

A:当院としてもそのような機会を設けたいと考えております。早期に実現できるようにいたします。

○セミオープン^{注)}化して欲しい。

A:今後の医療にオープン化が必要であると認識しております。実現に向けた検討を進めてまいります。

○最近、連携がスムーズになった。

○いつも引き受けてもらい、返事もキチンともらっている。

A:ありがとうございます。昨年4月から体制を強化し、「円滑な受入れ」と「診療状況の報告徹底」を図りました。まだまだ不備な点もございますが、ご意見・ご要望を参考に改善していきたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

※ 旧都南村・仙北地区の医療機関さまの訪問も予定しております。
頂戴しました内容につきましては順次ご紹介させていただきます。

注)セミオープンとは、かかりつけ医が紹介先の医師と共同で入院治療したり、検討会に出席したり、手術の見学や執刀を行ったり、検査機器を使用したりするシステムです。
今後、かかりつけ医の先生方の要望をお聞きし、診療科や対象範囲の検討を進めることとなります。